

社会福祉法人 善光会  
令和4年度 事業報告書

---

# 目次

第一章	法人全体事業報告	1
第二章	特別養護老人ホーム フロース東糀谷	
Ⅰ.	特別養護老人ホーム フロース東糀谷(介護老人福祉施設)	5
Ⅱ.	ショートステイ フロース東糀谷(短期入所生活介護)	7
Ⅲ.	老人デイサービスセンター フロース東糀谷(地域密着型通所介護)	9
Ⅳ.	デイサービスセンター フロース東糀谷(認知症対応型通所介護)	11
第三章	介護老人保健施設 アクア東糀谷	
Ⅰ.	介護老人保健施設 アクア東糀谷(介護老人保健施設)	13
Ⅱ.	介護老人保健施設 アクア東糀谷(短期入所療養介護)	15
Ⅲ.	介護老人保健施設 アクア東糀谷(通所リハビリテーション)	16
第四章	障害者支援施設 アミークス東糀谷	
Ⅰ.	障害者支援施設 アミークス東糀谷(施設入所支援/生活介護)	17
Ⅱ.	障害者支援施設 アミークス東糀谷(短期入所)	19
Ⅲ.	障害者支援施設 アミークス東糀谷(生活介護/通所)	21
第五章	特別養護老人ホーム バタフライヒル大森南	
Ⅰ.	特別養護老人ホーム バタフライヒル大森南(介護老人福祉施設)	23
Ⅱ.	ショートステイ バタフライヒル大森南(短期入所生活介護)	25
第六章	特別養護老人ホーム バタフライヒル細田	
Ⅰ.	特別養護老人ホーム バタフライヒル細田(介護老人福祉施設)	27
Ⅱ.	ショートステイ バタフライヒル細田(短期入所生活介護)	29
第七章	認知症対応型共同生活介護事業所 フラクタルビレッジ	
Ⅰ.	フラクタルビレッジ西六郷(認知症対応型共同生活介護)	31
Ⅱ.	フラクタルビレッジ羽田(認知症対応型共同生活介護)	32
Ⅲ.	フラクタルビレッジ大森南(認知症対応型共同生活介護)	33
第八章	ケアサポートセンター	
Ⅰ.	リンクス羽田(居宅介護支援)	34
Ⅱ.	リンクス大森中(居宅介護支援)	36
第九章	サンタフェ総合研究所(福祉事業者等への経営支援事業他)	38

## 第一章 法人全体事業報告

### 1. 法人事業の理念

- (1) オペレーションの模範となる
- (2) 業界の行く末を担う先導者になる

### 2. ビジョン

- (1) 諦めない介護
- (2) 先端技術と科学的方法を用いたオペレーション
- (3) 革新的チャレンジによる安定経営基盤
- (4) 創造性とチームワーク

### 3. 令和4年度の経営方針

“介護品質向上とオペレーションの効率化活動の展開”

“事業継続計画の実施によるお客様への快適環境の継続的な提供”

令和4年度も、スマート介護士関連の人材育成プログラムと、スマート介護プラットフォーム（以下「SCOP」）を一層拡充させるとともに、介護福祉業界に対して介護品質向上とオペレーション効率化への意識啓発を行ってまいりました。併せて、これら、スマート介護士及び SCOP 事業が国の介護保険事業を支える経営基盤の一つとなるための活動に注力してまいりました。

世の中が新型コロナウイルス感染症により、未曾有の危機に直面しましたが、実行してまいった「スマート介護」が有事の際に、とても有力な方法であることがわかってきております。感染症の影響も相まって、省力化、省人化されたオペレーションの注目度が更に高まっています。

スマート介護士については、昨年度より CBT 化を導入し、集合試験では参加が難しかった方の参加が可能になり、幅広い方へ参加を促すことができるようになり、受験者数も増加しました。

事業継続計画（BCP）については、新型コロナウイルス感染症予防を含めた内容を盛り込み、法人内での計画実行に向けて取り組んでまいりました。令和4年度は、サンタフェガーデンヒルズにて、初動対応の訓練を行い、実施可能な計画になっているかなどの確認を行いました。

介護品質向上においては、昨年度に引き続き独自で構築したサービス品質評価フレームワークの利用を進め、介護アウトカム（介護サービスの成果）を可視化し測定することで、定量的なデータに基づいた効果あるサービスの効率的な提供に努めました。

サービス提供（オペレーション）効率の向上においては、SCOP 及び関連するアプリケーションの利用を進め、経営効率の向上や職員の負担軽減を図りました。また、国内最先端の福祉施設として、介護ロボット機器の活用による効率化に不可欠な「連続的かつ柔軟なオペレーション創造」にかかるノウハウを、福祉業界の発展のために広く提供することに努めました。

さらに、介護労働市場の人材不足の深刻化に対して、国籍や年齢に問わずに様々な人材の採用を進め、多様な個性が組織の成長を加速化させるダイバーシティ環境を構築し、より一層一人ひとりの職員が働きやすい組織とすることで、職員の長期定着化を図りました。

(1) ガバナンス体制

- ① 予算管理において各費目およびその内訳と、施設や部門とのリンケージを確立させ、責任所在を明確化することで経営意識の醸成を図りました。
- ② 収益管理において事業別に収益予実差異を細分化し、継続的に差異発生原因を把握できる実績管理体制を構築しました。

(2) 経営戦略

- ① 同一もしくは、近隣地域にて複数種類の事業を展開している強みを活かし、事業間シナジーを通じて、お客様の状態やその変化に応じた包括的サービス提供体制を強化しました。具体的には、稼働率が法人内で比較的低稼働であった介護老人保健施設の事業を今まで以上にご利用者様から選ばれるよう稼働率の向上に努めました。
- ② サンタフェ総合研究所において、スマート介護士資格の更なる拡充と、スマート介護プラットフォームの開発を進め、介護ロボット機器を用いた介護オペレーションをより発展させました。コロナ禍においては、WEB での見学会や説明会を導入し、各プロダクトの展開を滞りなく進めてまいりました。
- ③ 経営基盤強化を目的に、サービス品質管理プラットフォームの開発や、オペレーション効率向上に必要な能力定義等を行いました。

(3) マーケティング戦略

- ① コロナ禍において外出等の機会が失われてしまったものの、他企業と連携し、室内でも楽しめるコンテンツの充実を図りました。
- ② お客様の嗜好に合わせた多様な経験の場を提供するために、積極的に地域資源を活用したサービス設計を図りました。
- ③ 地域福祉を担うべき存在である社会福祉法人としての役割に鑑み、地域との連携が分断されつつある状況においても、積極的に情報発信に努めました。
- ④ 事業展開地域のコミュニティ機能を維持・向上すべく、より親しみやすい空間づくりに取り組みました。

(4) 財務戦略

- ① 水道光熱費、消耗品、食材や飲料、各種業務委託契約に対する抜本的な見直しを行い、更なるコストカットを図りました。また、物価高騰に対する助成金などを積極的に活用していきました。
- ② 設備や車両等においてもリース転換を含めた、資産の流動化を検討し、運営コストの圧縮を図りました。

(5) オペレーション戦略

- ① 多くの最新の介護機器等を試験導入することで培ってきた経験を活かし、最新テクノロジーを活用した業務効率の高いオペレーションモデル構築を推進しました。
- ② バックオフィス部門においては、AI 導入等を検討しながら、アウトソーシング化を検討いたしました。

- ③ 各種業務工程に SCOP に関連した独自開発のアプリケーション等を導入することで、効率化を進めました。
- ④ 事業毎に異なる環境とその変化に柔軟に対応するべく、施設の特性を活かしたサービス提供体制を開発・再構築しました。

#### (6) 人事戦略

- ① 明確な評価基準を基にしたキャリアパスを引き続き活用し、職員の自発的な能力開発を促す職場作りに取り組みました。
- ② 職員が自発的に学習し、成長できる能力開発システムを構築し導入しました。チーム制の勉強会プログラムを導入し、互いに高めあえる組織として更なる研鑽に励みました。
- ③ 価値観が多様化する中、また福祉人材の需給状況が悪化する中、多様な職員が活躍できる職場の創出を目的に、シニア世代や外国人従業員が働きやすい環境を整備いたしました。
- ④ 採用環境が悪化する中、従来の採用広告出稿や人材紹介等の施策にとどまらず、経営資源を集中的に投下し、積極的に新たな独自施策を企画立案、実施しました。

#### (7) リスクマネジメント対策

- ① 経済の不確実性が高まる環境下で安定的にサービス提供できるよう、物価上昇に耐えうる各種備品・消耗品の調達ルートの整備に取り組みました。
- ② 自然災害発生時等、いかなる状況においても安定的にサービスを提供できるよう、各種災害対策訓練を継続的に実施するとともに、基準期間の二倍の運転資金の確保と、飲食料備蓄や災害対策用品の管理徹底をいたしました。
- ③ 感染症やケガを含む介護事故の事例を個別的・統計的に分析し、施策立案、実施、評価の PDCA サイクルを回すことで予防能力を強化しました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症に対しては、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの見直しを行いながら、施設内での感染の拡大予防に努めました。

#### (8) R&D 戦略

- ① 最先端介護施設としての使命を果たすべく、業務効率化を目的として、特別養護老人ホーム バタフライヒル細田と特別養護老人ホーム フロース東糀谷の指定ユニットにおいて、集中的に先進的な介護ロボット等を導入する「ハイブリッド特養プロジェクト」について、対象フロアを一層拡大いたしました。
- ② 「ハイブリッド特養プロジェクト」で優れた効果が認められた介護ロボットについて、他の事業所も含め、導入範囲を拡大しました。
- ③ 先端テクノロジーを駆使して高効率な介護サービスを提供するための施設オペレーションにかかる技術を形式知化した、介護資格「スマート介護士」の更なる拡充をいたしました。

#### (9) コミュニケーション戦略

- ① コロナ禍において、地域とのコミュニケーションについては限られてしまったものの、積極的な情報発信を実施いたしました。

- ② WEB 面会の仕組みを導入した他、コロナ禍であっても積極的に安全にご家族様との面会ができるようにするなど、対面や非対面でのコミュニケーションのあり方について検討及び実施をいたしました。
- ③ 今年度は、事業展開地域以外での地域貢献活動を再開し実施しました。

## 第二章 特別養護老人ホーム フロース東糀谷

### I. 特別養護老人ホーム フロース東糀谷 (介護老人福祉施設)

#### 1. フロース東糀谷としての取り組み

##### (1) 時を感じることでできる居場所作りとケアサービス

最期まで、その人らしく生きる人生を送っていただくため、ご本人様、ご家族様、職員が一丸となり、フロース東糀谷の介護指針に沿い「あきらめない介護」を実践し、その人らしい人生プランを実現できるサービス提供を目指しました。生活の中で当たり前四季と一日の時を感じることでできる居場所作りとケアサービスの提供に努めております。

自立支援に向けては、独自のアウトカムスケールを活用し、定量的に評価できる仕組みで分析を行い、お客様の自立支援向上を目指しました。一人ひとりの「できること」に着目し、お客様の個性を考慮したケアサービスが提供できるように多職種と連携して活用を行っております。

WEB ツールについては、使用しながら他者との交流や、外の環境に触れることができるように新たな方法を模索しながら実践に努めました。

日常では、畑を活用して野菜や植物を育て、五感を使い四季を感じることでできる環境の提供、夢プランの実施も積極的に進め、お客様の満足度の向上に努めました。

コロナ禍により、対面でのご面会は制限をしておりましたが、WEB 面会やリモートで参加できるイベント企画も行いながら、お客様とご家族様の日々の繋がりを作るように新たな取り組みにも挑戦しました。

お看取り介護では、ご本人様、ご家族様が望む最期を迎えられるように、個々に合ったご提案やご要望を実現できるお看取り介護を多職種と連携し、実施しております。コロナ禍においても、ご家族様との最期の時を大切にし、支援に努めました。

##### (2) 安定した財務基盤の確立

質の高いサービスを継続提供し続けるために、各委員会を中心に、様々な取り組みを実践してまいりました。特に、お客様健康向上委員会を中心に、各お客様の疾病分析、個々の状態に合った疾病の発症予防の実践を行いました。また、ICT を用いたケアにより、適切なケアの実施、病気の早期発見に努め、疾病や事故による入院予防に努めました。さらに、新型コロナウイルス感染症防止に合わせ、オンライン診療を取り入れ、早期対応、外部受診の削減に努めました。年間を通し入院抑制に繋がる結果となりました。

##### (3) 介護 DX 化によるオペレーション変革

ハイブリッド特養プロジェクトとして、モデルフロア・ユニットを構築し、最先端技術の本格導入に向けた現場レベルでの運用を実施してまいりました。実証事業にも多く参画し、様々な最先端技術の導入を行い、さらに導入フロア、ユニットを広げ、施設全体での実用化を目指しました。

また、柔軟性と創造性を併せ持つ介護士育成のため、スマート介護士資格取得に取り組みました。資格保有率の向上と資格取得後のフォローアップ体制も整え、引き続き施設全体で業務効率化・お客様へのサービス品質向上に努めてまいります。

##### (4) 日本一働きがいのある施設像の構築

職員に主体的な施設運営参加を促し、あるべき施設像を追求いたしました。各種委

員会に全職員が属し、現場リーダーを中心に運用いたしました。個々のスキルや得意分野を活かせる場を作ることにより、やりがいや達成感を感じ、個々の成長と主体性を醸成しました。

主体的に提案された事象がオペレーションとして機能するようボトムアップを図りました。個々の職員の自己実現に向けて、目標設定や評価の中で成長を実感できる体制を構築しました。

2. 施設行事  
別紙1のとおり
3. 職員会議・研修  
別紙2のとおり



## II. ショートステイ フロース東糀谷 (短期入所生活介護)

### 1. フロース東糀谷としての取り組み

#### (1) 時を感じることでできる居場所作りとケアサービス

在宅生活を継続できるように「できること」を日常に取り入れて、その人らしい生活が当たり前に行えるように、ご本人様、ご家族様、職員が一丸となりあきらめない介護の実践に努めました。また、この場所が人生を楽しむために選択いただける場所となるように皆様の居場所作りとケアサービスの提供に努めております。

生活の中で四季と一日の時を感じていただける居場所づくりと、ケアサービスの提供に努めました。

#### (2) 継続した在宅生活が実現できるサービスの創出

施設サービスを利用することによって科学的根拠に基づいたレコメンドレポートを提供し、在宅生活を継続して営んでいただけるよう取り組みました。

睡眠状態の可視化、お客様の記録情報及び生体情報を基に、在宅での生活介入・助言ができるレコメンドレポートの提供作りを進めることができました。その中で、アセスメント力の強化、職員によるケアの質の向上、ご家族様との関係の構築にも繋がっております。

#### (3) 個々に応じた宿泊プランとおもてなし

アセスメントシートを作成し、個別ケアの充実に努めました。より詳細な情報と個々のニーズを確認し、個々に見合ったプランの作成を目指しております。また、個々の要望にお応えできるように「リクエストプラン」を導入しております。

コロナ禍によりできることは限られましたが、感染症対策を徹底しながら、お客様にお楽しみいただける工夫を行い、満足度向上に努めました。

#### (4) 認知症予防、認知症進行防止のケアサービス

高齢者ケアメゾット「ユマニチュード」の学習機会を設け、チームで取り組んでおります。それぞれのお客様の認知症の症状について情報共有を行い、ケアの検討、統一を行いました。認知症ケアの課題解決も行えるように、更なる認知症ケアのスペシャリストの育成に努めます。

#### (5) 介護 DX 化によるオペレーション変革

将来の介護施設像の構築を進める「ハイブリッド特別養護老人ホームプロジェクト」において、テクノロジー技術を導入し、科学的介護による高品質なサービス提供の実現と介護士の業務負担の軽減を行い、介護保険サービスに見合った人員配置実現のためのオペレーションの構築に取り組みました。

#### (6) 安定した財務基盤の確立

より多くのお客様にご利用いただくために、入所施設と連携を図り、空床利用も積極的に活用しました。また、看護職員等の各専門職とも連携を図り、重度要介護者、医療依存度の高いお客様の受け入れや、居宅支援事業所とも連携し、緊急にご利用される方も受け入れられる体制を整えました。

#### (7) 日本一働きがいのある施設像の構築

職員に主体的な施設運営を促し、あるべき施設像を追求しました。それぞれが役割を持ち、やりがいや達成感を感じ、主体性を醸成いたしました。各ミーティングにて、

それぞれが発言できる環境や学習の場を設け、それぞれのスキルアップと組織の成長を目指しております。

各職員においては、年間の目標設定を行い、個々のスキルアップに努めました。目標管理には、各リーダーがフォローアップを行い、個々のレベルに応じた育成に努めました。

(8) ご家族様と居宅支援事業所との連携

ご利用期間中のサービス提供状況や生活状態をご家族様、担当ケアマネージャーと共有しております。コロナ禍のため、WEB ツールも用いながら、ご意向に沿った連携方法を提案し、スムーズな連携に努めました。また、ケア提供中の気づきや変化を共有することで、個々の適切なケアへの支援に繋がるよう努めました。今後も施設での生活のみならず、在宅生活へのアプローチができるように、積極的な連携を図ってまいります。

(9) 地域共生社会

地域資源の活用、地域事業に積極的に参加し、地域共生社会を目指しています。コロナ禍においても、新しい地域連携を検討、提案し、当たり前社会参画できる体制と介護事業所として地域への役割を果たせるように努めました。

(10) 災害対策について

事業継続計画（BCP）を立案し、お客様・ご家族様・職員の安全を確保しながら法人の事業を適切に継続・運営しています。大規模災害が発生した際、人命の安全を第一に考え、社会的な供給責任を果たせるように努めました。

2. 施設行事

別紙1のとおり

3. 職員会議・研修

別紙2のとおり

### Ⅲ. 老人デイサービスセンター フロース東糶谷 (地域密着型通所介護)

#### 1. 令和4年度の取り組み目標

##### (1) 自立支援、重度化防止に努めます

LIFE をツールとして管理栄養士とともにお客様の栄養状態について共有し、適切な食事の形態や摂取方法・栄養状態の維持改善に努めることができました。口腔状態や栄養状態評価について、定期的にご本人様、ご家族様、担当ケアマネージャーへ情報を共有し、介護サービス事業者全体での関わりにも努めました。

##### (2) ご家族様との関係づくりの強化

その場ですぐに写真を渡すことができ、業務の効率化を図ることができるため、インスタントカメラを使用し、不定期ではありましたがお客様のご様子を撮影し、ご家族様に写真をお渡しすることができました。

また、法人公式インスタグラムにもデイサービスの様子を掲載させていただき、透明性のあるサービス案内に努めました。

##### (3) 能力に応じた自立した活動の取り組み

菜園活動、ガーデニングを実施しました。定期的に屋外に出て、外の季節を感じてもらいながら、適度な運動も行うことができました。

レクリエーションや食のイベントは、年間計画に基づき実施しております。コロナ禍でも安全に楽しく行える取組を計画することができ、心身機能の維持向上に努めることができました。外出は感染症対策上、控えましたが、WEB ツール等を用いて幅広いレクリエーションの提供に努めました。

##### (4) 選択制の充実

アクティビティの充実を図り、選択性を取り入れることで、お客様の多様化したニーズに応えることを目指しました。

定期的なミーティングを開催し、年間計画に基づいたレクリエーションの練度の向上に努め、選択的な活動については毎月選択食を開催しました。

運動は機能訓練指導員が中心となってプログラム作成、季節ごとのイベントに絡めた運動を計画実施し、季節感のある運動を実施することができました。

創作、調理レクリエーションも、別紙1の年間計画に基づき実施することができました。

##### (5) 在宅生活を支えるサービスの創出

看護師による口腔状態のアセスメント、管理栄養士による栄養アセスメントを実施し、低栄養予防に努めました。定期的な食事提供が必要なお客様へ、事業所で調理したお弁当の提供を案内し、定期的な購入に至っております。

自宅および生活課題を抱えている方には個別機能訓練の提案を行い、個別の訓練プログラムを立案・実施することができました。

##### 【居宅支援事業所との連携】

居宅支援事業所へ毎月の活動報告を行うとともに、適宜必要なサービスの提案を行っております。

##### (6) 地域共生社会への取り組み

施設感染防止対策のため、直接顔を合わせての運営推進会議は実施せず、書面報告での実施とさせていただきます。

外部ボランティアの受け入れは、施設感染防止対策のため、未実施となりました。  
職場体験については感染状況が落ち着いていた時期に、1件受け入れを行いました。

(7) サービスの質の向上

別紙2の年間研修計画に基づき職員研修を実施しております。認知症研修の他、個別に認知症介護実践者研修の申し込みをしましたが、落選し受講はできませんでした。また、第三者評価を受審し、アンケート調査の結果を踏まえ、サービス品質の向上に努めました。

(8) 効率的な運営

既存業務の効率化と改善について、適宜職員間で話し合う時間を設け、オペレーションの効率化に努めることができました。

実証実験の実施、メーカーや他事業所のノウハウを取り入れる視点で、実験への参加に努めました。

2. 施設行事

別紙1のとおり

3. 職員会議・研修

別紙2のとおり

#### IV. デイサービスセンター フロース東糀谷 (認知症対応型通所介護)

##### 1. 令和4年度の取り組み目標

###### (1) 継続した在宅生活が実現できるサービスの創出

在宅生活を継続して営んでいただけるように、お客様・ご家族様の積極的な支援を行いました。要介護状態の予防、ADLの維持向上、自立支援、社会保障費の抑制に繋がる活動になるよう支援いたしました。

###### (2) 認知症ケアの取り組み

余暇活動に、菜園活動や創作等の体験型のアトラクト、生活リハビリを取り入れております。生活リハビリはお客様が普段自宅でも行なっている家事作業（洗濯物たたみ、洗濯物干し、テーブル拭き、食器拭き、掃き掃除など）を中心に行ない、在宅生活の継続を意識した取り組みを行ないました。

各活動に関しても五感を刺激し、人間らしく生きる人生を諦めないという考え方のもと認知症の根治、認知症による周辺症状の緩和を目指し、認知症ケアの確立を目指しました。

###### (3) 選択制の充実

各お客様に合わせたアクティビティの充実を図り、選択制を取り入れることでお客様の多様化したニーズに応えることを目指しました。

###### (4) 在宅生活を支えるサービスの創出

一人暮らしや高齢者世帯で食事作りや買い物が困難であり、定期的な食事提供が必要なお客様へ、管理栄養士監修の栄養バランスのとれたお弁当の提供を行ないました。

また、LIFEを用いて管理栄養士とともにお客様の口腔・栄養状態についてアセスメント、モニタリングを実施し、栄養状態の維持・改善に努めました。

管理栄養士による昼食時間帯のラウンドも実施し、都度お客様の食事の様子についても情報の共有を図るよう努めました。

###### (5) お客様・ご家族様への支援

認知症対応型通所介護事業所とご家族様との緊密な関係を築き、協働でお客様の認知症介護を目指しました。居宅訪問やアセスメントツールを活用し、生活機能維持を図りました。また、ご家族様の負担軽減・孤独感を解消できるよう努めました。

###### (6) 地域への取り組み

保育所との交流会を実施し、お客様が地域の方と交流する機会の確保に努めました。

また、依頼のあった企業からの共同実証に積極的に参加することにより、お客様の新たな取り組みに対しての挑戦に係る機会の提供、福祉業界改革の手助けとなるよう努めました。

###### (7) 効率的な運営

業務の効率化や改善について、定例ミーティング等で話し合う機会を設け、オペレーションの効率化について職員の意識を高めることに努めました。

実証実験への参加、他事業所のノウハウも参考にしながら業務の見直しも行ないました。

2. 施設行事  
別紙1のとおり
3. 職員会議・研修  
別紙2のとおり

### 第三章 介護老人保健施設 アクア東糀谷

#### I. 介護老人保健施設 アクア東糀谷 (介護老人保健施設)

##### 1. アクア東糀谷としての取り組み

###### (1) 生きがい（やりがい）につながる生活の構築

- ① 生活の中で働くことでやりがいもてる仕組み（お仕事プロジェクト）の活用
  - ・施設内で働く場所と機会を提供し、その対価として得られたポイントをお客様のご希望に沿って使用できる仕組みの活用を検討していましたが、コロナ禍における活動内容や活動場所の制限に伴い、十分な活用には至りませんでした。
  - ・日常生活の中でお客様が人間らしく生きる人生を諦めないために、施設内での生活が心身機能の維持・向上に繋がることであるという意識を高めていただけるよう支援していきました。
- ② 施設内におけるレクリエーションの充実
  - ・お客様に施設に居ながらも体験、経験していただけるようなオンラインのツアーやコンサートなどを活用し、感染症防止対策の対応下においてもお客様に楽しんでいただけるような取り組みを行っていきました。
  - ・他職種連携のもと、季節を感じることでできるレクリエーションや、食事・おやつを作るといった五感を刺激するような調理レクリエーションなどを実施していきました。
- ③ 心身機能向上のための体制の確立
  - ・介護職員と理学療法士等で機能向上委員会を確立し、情報の発信、課題の共有・改善に向けてチームで連携を深めていきました。
  - ・リハビリテーション以外に、介護職員を中心に実施するユニット毎の体操や、認知機能に刺激を与える朝礼を継続して行い、心身機能の向上を目的とした支援を行いました。

###### (2) 理学療法士・作業療法士等によるリハビリテーションの充実

- ① 在宅復帰へのアプローチの充実を図る
  - ・在宅復帰を目指されているお客様については入所の前後に、職員がご自宅の環境を確認させていただきました。退所の前後には、今後ご自宅において安全で安心した生活が送れるように動作の確認や、ご家族様へ動作指導も行いました。
  - ・施設と在宅では生活環境が異なるということを前提に、お客様の生活における課題を洗い出し、課題に対して改善できるよう各専門職が協力しながら支援していきました。
- ② 科学的根拠のあるリハビリテーションの実施
  - ・科学的根拠のある計画書、実施報告書の作成を行い、お客様やご家族様に情報を伝えていきました。
  - ・在宅復帰後に必要な能力が身に付くような内容を検討し、適宜情報の発信・共有を行いました。
  - ・機器の導入、活用を行い、データに基づいた根拠のあるリハビリテーションを実施

できるよう努めました。

(3) 職員のスキルアップを行いサービスの質の向上をめざす

① 職員の役割を明確にすることで意欲向上を図る

- ・各専門職で居室担当者を決め、ケアカンファレンスを行いました。居室担当者は、各職種の視点からアセスメントを実施し、お客様のニーズを把握し目標設定を行い、目標達成のための計画を立案・実施することでサービスの質の向上を図りました。
- ・職員一人ひとりが、委員会に所属し施設運営に参加しました。施設での課題を委員会内で議論することで、当事者意識をもって考え行動できる職員になれるよう努めました。

② 研修を充実させ職員のスキルアップを行う

- ・職員の課題を明確にし、その課題に合わせた研修の受講を行いました。オンライン研修等、積極的に外部研修に参加し幅広い知識の習得を図りました。
- ・各委員会を中心とした内部研修を定期的に行い、座学研修だけではなく実践を交えた研修内容にも取り組み、確実な知識と技術の獲得を目指しました。内部研修では、委員会の担当職員が講師をすることにより、自身の理解を深めることができ、施設内の課題に目を向ける機会を作りました。

③ 認知症ケアの確立

- ・認知症のお客様の症状が落ち着き、安定した生活の場が確保できるように多職種連携のもと日々のケア内容の見直しを行いました。
- ・新入職員や未資格の介護職員の東京都認知症基礎研修の参加はできませんでした。リーダーを中心に認知症の外部研修に参加し、より専門的な認知症介護の理解を深められるよう努めました。

(4) 稼働率向上に向けて

- ・安定した稼働率の確保のため、支援相談員以外の職員も入所の申込案内や見学対応が行えるようにしました。
- ・新規顧客獲得に向けて、大田区内の事業所や病院に営業を行いました。
- ・近隣の病院に対しては、ベッドの空き情報などを相談員から積極的に発信していきましました。
- ・お客様の健康管理に関して、各専門職が連携を図り、異変の早期発見、早期対応により、入院による退所者を最小限に留められるよう努めました。
- ・入院を抑制するために検討していた、入院の原因となっている疾患についての社内研修や外部研修への参加はできませんでしたが、介護職と看護職が日常的に連携を図り知識習得に努めました。
- ・新規顧客をより多く受け入れるため、在籍期間が長いお客様に対しては退所支援を行っていくことでベッド回転率を上げていきました。



## Ⅱ. 介護老人保健施設 アクア東糀谷 (短期入所療養介護)

### 1. アクア東糀谷としての取り組み

#### (1) お客様のできる能力の向上を目指す

- ・お客様の「できる能力・できない能力」を、理学療法士等が FIM を参考にした独自の評価表を用いて評価しました。また、ご自宅での生活状況を把握するため、フェイスシートを作成していきました。
- ・入所時に理学療法士等が評価し、課題を抽出した上で、能力の向上に特化したリハビリテーションを実施していきました。

#### (2) 在宅でのリハビリ方法の提案

- ・在宅生活に戻った後も継続して「できる能力」が維持できるように、在宅用のリハビリプログラム（在宅版）を作成し、お客様へ提案をしました
- ・退所時には入所中のリハビリ実施内容を報告書として作成し、お客様とご家族様へ情報の共有を行い、在宅でのサービスに活かせるように対応しました。

### Ⅲ. 介護老人保健施設 アクア東糀谷 (通所リハビリテーション)

#### 1. 通所リハビリテーションアクア東糀谷としての取り組み

##### (1) お客様の身体機能が向上し、できる能力の向上を目指す

- ・ 住み慣れた在宅での生活が継続できるように、お客様の身体能力・生活環境に合わせたリハビリプログラムを提供し、ご自身でできる動作が一つでも増えることを目指しました。
- ・ お客様の身体状況や生活環境について、リハビリ職員が定期的に確認しました。
- ・ お客様のサービス担当者会議に、リハビリ職員や介護職員が参加し、他のサービス提供事業者と利用中の状況を共有し、統一した支援方法が提供できるよう努めました。
- ・ 在宅介護での課題がある場合は、課題に対しての対応策などをお客様・ご家族様に提案し、解決できるように支援しました。

##### (2) 独自のリハビリテーション（アクアフィット）メソッドの確立

- ・ 科学的介護情報システム（LIFE）の項目に基づき評価を行い、科学的根拠に基づいたリハビリテーション計画書を作成し実施しました。3 か月毎に再評価を行い計画の見直しを行いました。
- ・ マシントレーニングや自転車エルゴメーター等のリハビリ機器を用いた自主練習プログラムを作成し、効果的な身体機能の向上を図りました。自主練習プログラムはお客様個々の状態に合わせ目標設定を行い、目標の達成に向けてモチベーションが継続するようサポートしました。
- ・ パソコンや ipad 等の電子機器を使用した職業訓練による、認知機能面の維持・向上や、社会復帰の支援を行いました。
- ・ サービス利用時のリハビリ実施状況と成果を、月に 1 回ご家族様に報告しました。お客様とご家族様のニーズを把握し、それを達成できるリハビリテーションを施設内はもちろんご自宅でも継続してリハビリに取り組めるように自主練習の提案と指導を行いました。自主練習内容はご家族様にも共有し、ご自宅でのリハビリをサポートしていきました。

## 第 四 章 障害者支援施設 アミークス東糀谷

### I. 障害者支援施設 アミークス東糀谷 (施設入所支援／生活介護)

#### 1. 運営

お客様のニーズを把握し、施設個別支援計画に基づき、お客様の立場にたった支援を行ないました。お客様が自分らしい生活、希望される生活を過ごせるようお客様の意思及び人権を尊重し、サービスの質の向上に努めました。

コロナ禍においても、お客様に寄り添ったより良いサービスの提供に向け、諦めない介護を実践しました。

#### ○サービス

##### (1) 最先端技術の導入

- ・記録システムや職員連携強化のインカムなどの活用により、業務効率化を図り、直接処遇の時間を増加することができました。また HitomeQ ケアサポートの全床導入、眠りスキャンの一部導入を行ないました。今後もお客様の快適な生活環境、職員の職場環境の改善に努めます。
- ・移乗用のリフト 2 台を活用し、お客様の安全に配慮するとともに職員の負担軽減を行ないました。来期は新たな移乗用リフトを導入し、ノーリフティングケアの確立を目指します。

##### (2) 生活の充実

- ・新型コロナウイルス感染症の防止対策から外出を控え、入所フロアにおいて日中活動を年間通して行ないました。
- ・季節に合わせて、行事イベントを行なうことでお客様に季節を感じていただけました。
- ・お客様個々の支援計画に基づき、ニーズに即した支援を提供し、お客様のご意見、ご要望については、職員ミーティングを開催し、随時検討を行ない、定期的な見直しを行ないました。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策の上で、対面での面会を制限し、WEB での面会を実施しました。

##### (3) 食事の充実

- ・年間を通して、旬の食材を使用した季節を感じる食事提供に取り組みました。
- ・調理アトラクトをユニット毎に行ない、普段にはない食事、おやつを提供することができました。

##### (4) 権利擁護の徹底

- ・権利擁護委員会を隔月 1 回開催し、継続的な虐待防止、身体拘束廃止、苦情解決等のお客様の権利擁護を中心とした「障害者の身体拘束防止」、「障害者の虐待防止」に取り組むことができました。
- ・身体拘束ゼロに向けた取り組みとして、勉強会を実施し、身体拘束に対する知識向上に努めることができました。
- ・虐待防止の取り組みとしては、年 2 回虐待防止自己点検シートを活用することにより、虐待防止について職員の意識を高めることができました。

(5) 感染症対策・予防の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しましたが、ゾーニング等の感染症防止対策により、施設全体への感染拡大を防ぐことができました。
- ・感染症委員会を中心に予防対策が浸透し、また感染症に対する定期検査を徹底したことにより、感染症自体の発生を抑制できました。
- ・感染症予防に関する研修を実施し、職員個々の意識の向上に取り組みました。

(6) 社会性の確保

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、あらゆるイベントが中止となり、地域との交流の機会を持つことができませんでした。
- ・地域の動き等をお客様に伝えることで、意識的なつながりの継続は図れました。

2. 組織管理

(1) 従業員の構成、職務

- ・職員体制、またその職務についても年間を通して遵守しました。

(2) 研修等

- ・オンライン研修の導入により、様々な障害特性について学ぶ機会を職員に提供しました。また年間計画に沿って、研修を進めることができました。
- ・職員との面談を定期的に行ない、職員個々が自身の感じたことを提案できるコミュニケーションの機会を設けることができました。
- ・職員同士で意見交換を行なう会議を開催しました。
- ・意見や提案を施設運営に反映するように取り組み、職員が能動的にサービス品質の向上に寄与するよう取り組みました。

3. 安全管理

- ・事故防止委員会としてお客様の支援方法の見直しを行ない、事故リスクが高い場所や、危険と感ずる移乗については、リフトを使用する移乗や 2 名体制での実施に変更するなど、お客様の安全を優先したオペレーションに変更しました。
- ・事故発生後には、リスクマネジメント委員会を中心としたカンファレンスを実施し、原因の究明や再発防止策を検討しました。

4. 防火・防災管理

- ・建物の防火・防災計画に則り、お客様を交えた防火・防災訓練を行ない、お客様、職員ともに防火・防災への意識が高まる取り組みを行ないました。

## Ⅱ. 障害者支援施設 アミークス東糞谷 (短期入所)

### 1. 運営

短期間の入所を必要とするお客様に対し、できる限り在宅に近い環境の中で、ご家族様、関係機関との連携を図り、支援を行ないました。また、地域での生活を継続できるよう相談及び助言などの支援を行ないました。

#### ○地域共生社会の実現

- ・地域での生活を継続できるよう、お客様、ご家族様から求められたサービスの提供を行ないました。その際には、各管轄行政、各事業者と連携し、必要な情報の共有を行ないました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、安心してご利用いただける環境を提供できました。

#### ○サービス

##### (1) 最先端技術の導入

- ・記録システムや職員連携強化のインカムなどの活用により、業務効率化を図り、直接処遇の時間を増加することができました。また HitomeQ ケアサポートの全床導入を行ないました。今後もお客様の快適な生活環境、職員の職場環境の改善に努めます。
- ・移乗用のリフト 2 台を活用し、お客様の安全に配慮するとともに職員の負担軽減を行ないました。来期は新たな移乗用リフトを導入し、ノーリフティングケアの確立を目指します。

##### (2) 生活の充実

- ・新型コロナウイルス感染症の防止対策から、入所フロアにおいて日中活動を年間通して行ないました。
- ・季節に合わせて、行事イベントを行なうことでお客様に季節を感じていただけました。
- ・お客様個々の支援計画に基づき、ニーズに即した支援を提供し、お客様のご意見、ご要望については、職員ミーティングを開催し、随時検討を行ない、定期的な見直しを行ないました。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策の上で、対面での面会を制限し、WEB での面会を実施しました。

##### (3) 食事の充実

- ・年間を通して、旬の食材を使用した季節を感じる食事提供に取り組みました。
- ・調理アトラクトをユニット毎に行ない、普段にはない食事、おやつを提供することができました。

##### (4) 権利擁護の徹底

- ・権利擁護委員会を隔月 1 回開催し、継続的な虐待防止、身体拘束廃止、苦情解決等のお客様の権利擁護を中心とした「障害者の身体拘束防止」、「障害者の虐待防止」に取り組むことができました。
- ・身体拘束ゼロに向けた取り組みとして、勉強会を実施し、身体拘束に対する知識向上に努めることができました。
- ・虐待防止の取り組みとしては、年 2 回虐待防止自己点検シートを活用することにより、虐待防止について職員の意識を高めることができました。

(5) 感染症対策・予防の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しましたが、ゾーニング等の感染症防止対策により、施設全体への感染拡大を防ぐことができました。
- ・感染症委員会を中心に予防対策が浸透し、また感染症に対する定期検査を徹底したことにより、感染症自体の発生を抑制できました。
- ・感染症予防に関する研修を実施し、職員個々の意識の向上に取り組みました。

(6) 社会性の確保

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、あらゆるイベントが中止となり、地域との交流の機会を持つことができませんでした。
- ・地域の動き等をお客様に伝えることで、意識的なつながりの継続は図れました。

2. 組織管理

(1) 従業者の構成、職務

- ・職員体制、またその職務についても年間を通して遵守しました。

(2) 研修等

- ・オンライン研修の導入により、様々な障害特性について学ぶ機会を、職員に提供しました。また年間計画に沿って、研修を進めることができました。
- ・職員との面談を定期的に行ない、職員個々が自身の感じたことを提案できるコミュニケーションの機会を設けることができました。
- ・職員同士で意見交換を行なう会議を開催しました。
- ・意見や提案を施設運営に反映するように取り組み、職員が能動的にサービス品質の向上に寄与するよう取り組みました。

3. 安全管理

- ・事故防止委員会におきましては、お客様の支援方法の見直しを行ない、事故リスクが高い場所や、危険と感ずる移乗については、リフトを使用する移乗や、2名体制での実施に変更するなど、お客様の安全を優先したオペレーションに変更しました。
- ・事故発生後には、リスクマネジメント委員会を中心としたカンファレンスを実施し、原因の究明や再発防止策を検討しました。

4. 防火・防災管理

- ・建物の防火・防災計画に則り、お客様を交えた防火・防災訓練を行ない、お客様、職員ともに防火・防災への意識が高まる取り組みを行ないました。

### Ⅲ. 障害者支援施設 アミークス東糞谷 (生活介護／通所)

#### 1. 運営

お客様のニーズを把握し、施設個別支援計画に基づいたうえで、お客様の立場にたった支援を行ないました。在宅の生活、日々の生活に活かせるような、生活の支援、日中活動、及びリハビリテーションを行ないました。支援の内容については、ご家族様や行政担当者と連携し、ご家族様の介護負担を軽減できるように努めました。

また、地域での生活を継続できるよう相談及び助言などの支援を行ないました。

#### ○地域共生社会の実現

- ・地域での生活を継続できるよう、お客様、ご家族様から求められたサービスの提供を行ないました。その際には、各管轄行政、各事業者と連携し、必要な情報の共有を行ないました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、安心してご利用いただける環境を提供できました。

#### ○サービス

##### (1) 最先端技術の導入

- ・記録システムや職員連携強化のインカムなどの活用により、業務効率化を図り、直接処遇の時間を増加することができました。一方で新たな介護ロボットの導入は行えませんでした。
- ・移乗用のリフト 2 台を活用し、お客様の安全に配慮するとともに、職員の負担軽減を行ないました。

##### (2) 生活の充実

- ・新型コロナウイルス感染症の防止対策から、人と人の距離を保ちながら日中活動を年間通して行ないました。
- ・季節に合わせて、行事イベントを行なうことでお客様に季節を感じていただけました。
- ・お客様個々の支援計画に基づき、ニーズに即した支援を提供し、お客様のご意見、ご要望については、職員ミーティングを開催し、随時検討を行ない、定期的な見直しを行ないました。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策の上で、対面での面会を制限し、WEB での面会を実施しました。

##### (3) 食事の充実

- ・年間を通して、旬の食材を使用した季節を感じる食事提供に取り組みました。
- ・調理アトラクトをユニット毎に行ない、普段にはない食事、おやつを提供することができました。

##### (4) 権利擁護の徹底

- ・権利擁護委員会を隔月 1 回開催し、継続的な虐待防止、身体拘束廃止、苦情解決等のお客様の権利擁護を中心とした「障害者の身体拘束防止」、「障害者の虐待防止」に取り組むことができました。
- ・身体拘束ゼロに向けた取り組みとして、勉強会を実施し、身体拘束に対する知識向上に努めることができました。
- ・虐待防止の取り組みとしては、年 2 回虐待防止自己点検シートを活用することにより、虐待防止について職員の意識を高めることができました。

(5) 感染症対策・予防の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しましたが、ゾーンニング等の感染症対策により、施設全体への感染拡大を防ぐことができました。
- ・感染症委員会を中心に予防対策が浸透し、また感染症に対する定期検査を徹底したことにより、感染症自体の発生を抑制できました。
- ・感染症予防に関する研修を実施し、職員個々の意識の向上に取り組みました。

(6) 社会性の確保

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、あらゆるイベントが中止となり、地域との交流の機会を持つことができませんでした。
- ・地域の動き等をお客様に伝えることで、意識的なつながりの継続は図れました。

2. 組織管理

(1) 従業員の構成、職務

- ・職員体制、またその職務についても年間を通して遵守しました。

(2) 研修等

- ・オンライン研修の導入により、様々な障害特性について学ぶ機会を職員に提供しました。また年間計画に沿って、研修を進めることができました。
- ・職員との面談を定期的に行ない、職員個々が自身の感じたことを提案できるコミュニケーションの機会を設けることができました。
- ・職員同士で意見交換を行なう会議を開催しました。
- ・意見や提案を施設運営に反映するように取り組み、職員が能動的にサービス品質の向上に寄与するよう取り組みました。

3. 安全管理

- ・事故防止委員会としてお客様の支援方法の見直しを行ない、事故リスクが高い場所や、危険と感ずる移乗については、リフトを使用する移乗や、2名体制での実施に変更するなど、お客様の安全を優先したオペレーションに変更しました。
- ・事故発生後には、リスクマネジメント委員会を中心としたカンファレンスを実施し、原因の究明や再発防止策を検討しました。

4. 防火・防災管理

- ・建物の防火・防災計画に則り、お客様を交えた防火・防災訓練を行ない、お客様、職員ともに防火・防災への意識が高まる取り組みを行ないました。



## 第五章 特別養護老人ホーム バタフライ ヒル大森南

### I. 特別養護老人ホーム バタフライ ヒル大森南 (介護老人福祉施設)

#### 1. バタフライヒル大森南としての取り組み

##### (1) 業界の行く末を担う次世代人材の育成と働き甲斐のある職場環境の醸成

変化が大きい業界の外部環境に適応していくため、業界全体の情報の発信を定期的に行うことで、正しく根拠を持つことができるように努めました。変化に合わせて多角的な視点で物事を捉えることができるよう、会議や委員会の中では新しい発想や提案を尊重し、取り組みに反映できるよう意識的に取り組みました。

権限移譲をしていくことでリーダー職員の育成を促していきましたが、主体性や能力の向上については十分な成果を得られていないため、次年度も継続して実施していきます。

また、人材の育成面については、特に介護職の振り返り OJT は計画していた通りの実施ができていないため、課題を整理し次年度も実行していきます。

会議や委員会は概ね計画通り開催できているものの、参加者の参加意義、責任感、ならびに主体性の醸成は一部足りないと感じる部分もあるため、今後の課題として会議や委員会運営に取り組みます。特に委員会については多様な委員会間でのシナジー効果を促す部分も十分にできていないため、次年度の重点課題として進めます。

外国人材との共生や職場環境の整備については概ね計画通りに実施できているため、取り組みを継続していきます。

##### (2) 介護サービスの充実

看取り介護については、年度内で 12 件実施しております。看取り介護サービスの総括としては、問題なく円滑にサービスを提供することはできました。課題としてサービスの独自性が無いことや、サービスの質を向上するための各職種の主体性に欠けることが挙げられます。

次年度は「サービス品質向上委員会」を立ち上げ、看取り介護を含めた様々なサービスの質の向上に努めていきます。特に基本的な介護サービスや接遇面での課題は優先的に取り組んでいきます。ユニットケアについては 2 名が実地研修を終えております。当施設の中で有効的なものを、取り組みに活かしていきます。

コロナ禍の中で、可能な範囲で地域との繋がりを持ちながら、防災訓練やバタフライフェスタなどの取り組みを実施することができました。次年度はさらに多くの取り組みや地域資源の活用が可能になると考えられるため、可能な限り地域との関係構築に努めていきます。

##### (3) 最先端技術の導入

介護ロボット導入推進検討委員会を中心に、既存機器の活用の推進、新規導入機器の検討、現場における課題解決のための検討を進めてきました。今年度は眠り SCAN の全床導入が完了していますが、それ以外の機器の導入や検討が進んでいないため、長期的な視野で必要な機器については計画的に導入を進めていきます。

職員のリテラシー向上のために、委員会による各職員への発信や、スマート介護士の資格取得の推進を図りました。前年度 60%程度であった資格取得率については 65%まで上昇しておりますが、目標の 70%には届いていないため、次年度も継続して資格取得の推進を図ってまいります。最先端技術の本来の目的である現場の生産性の

向上や、科学的なエビデンスに基づいた介護サービスの提供については、導入と併せて委員会の中で最重要テーマとして掲げ検討を進めていきます。

2. 施設行事

別紙1のとおり

3. 職員会議・研修

別紙2のとおり

4. 予算に関する取り組み

介護保険収入について、年間予算稼働の97%には届かず95.2%での着地となりました。

主な要因は退所から新規入所までの期間が、長期化したことにあります。その原因は入所待機者の確保が、退所に追いつかなかったことにあるため、今年度末より複数名が入所調整の担当を担い、連携して進めていくように体制を整備しています。

入院は例年より抑制できていたため、継続して取り組みを実施していきます。

平均介護度については期首よりも上がっていますが、目標の4.0には届いていないため、今後の課題とします。

一方、費用面では、離職率8%となっており、採用コストの削減については実行できております。

また、水道光熱費の使用量は削減できているものの、物価の高騰により費用は増加していますので継続して節約を推進していきます。次年度は大規模改修も予定されておりますので、費用面のコントロールをこまめに実施していきます。

## II. ショートステイ バタフライ ヒル大森南 (短期入所生活介護)

### 1. ショートステイ バタフライヒル大森南としての取り組み

#### (1) 業界の行く末を担う次世代人材の育成と働き甲斐のある職場環境の醸成

変化が大きい業界の外部環境に適応していくため、業界全体の情報の発信を定期的に行うことで、正しく根拠を持つことができるように努めました。変化に合わせて多角的な視点で物事を捉えることができるよう会議や委員会の中では新しい発想や提案を尊重し、取り組みに反映できるよう意識的に取り組みました。

権限移譲をしていくことでリーダー職員の育成を促していきましたが、主体性や能力の向上については十分な成果を得られていないため、次年度も継続して実施していきます。

また、人材の育成面については、特に介護職の振り返り OJT は計画していた通りの実施ができていないため、課題を整理し次年度でも実行していきます。

会議や委員会は概ね計画通り開催できているものの、参加者の参加意義、責任感、主体性の醸成は一部足りないと感じる部分もあるため、今後の課題として会議や委員会運営に取り組みます。特に委員会については多様な委員会間でのシナジー効果を促す部分も十分にできていないため、次年度の重点課題として進めます。

外国人材との共生や職場環境の整備については、概ね計画通りに実施できているため、取り組みを継続していきます。

#### (2) 在宅生活へのアプローチ

利用者の在宅生活へのアプローチをしていくため、退所報告書や退所時のご家族様への連絡の中で、情報の提供や施設からの発信に努めました。

今後は在宅生活における余暇活動や自立支援について、明確に発信し、実際の在宅生活が変化するように、さらに取り組みを強化していきます。

介護のプロフェッショナルとして家族に対しても、今まで以上にアプローチができるように努めます。コロナ禍の中ではご家族様との連携が取り難い場面もあるため、工夫して取り組んでいきます。

地域での緊急的なご利用者様の受け入れについては、法人内の他事業所とも連携し、可能な限り調整し受け入れることができました。

#### (3) 最先端技術の導入

短期入所については、眠り SCAN の全床設置が完了しています。しかし設置後の有効活用や、どのように在宅生活へ活かすかなど検討課題は多々あります。今後は取り組みを進め、先端技術により利用中に得たアウトカムを主介護者や介護支援専門員へ共有し、科学的な根拠に基づいた支援を在宅生活に活かすことができるよう有用な情報提供ができる体制を構築していきます。

また、スマート介護士については 80%の職員が取得しており、様々な最先端技術の導入等についても積極的に行いたいため、新たな機器の導入や活用を視野に入れ、次年度の検討課題としていきます。

### 2. 施設行事

別紙 1 のとおり

### 3. 職員会議・研修

別紙 2 のとおり

#### 4. 予算に関する取り組み

予算の根拠になる稼働については、年間予算稼働 123%としておりましたが124.5%で着地しています。予算は達成しているものの特養入所の空床利用率は高くはないため、次年度ではこまめな調整を実施し空床の有効活用に努めます。

水道光熱費の使用量は削減できているものの物価の高騰により費用は増加していますので、継続して節約を推進していきます。

次年度は、大規模改修も予定されておりますので費用面のコントロールをこまめに実施していきます。

## 第六章 特別養護老人ホーム バタフライ ヒル細田

### I. 特別養護老人ホーム バタフライ ヒル細田 (介護老人福祉施設)

#### 1. バタフライヒル細田としての取り組み

##### (1) お客様一人ひとりのニーズに合わせた個別ケアを提供します

お客様一人ひとりに居室担当を配置し、各専門職と共にサービス担当者会議を実施しました。サービス担当者会議では、お客様の課題について共通の理解をし、その方の生活機能向上に対する目標や支援方針を協議しました。

居室担当者がサービス担当者会議に参加することで、お客様一人ひとりのことをより深く知ることができ、その方のニーズや目標に合わせたケアを検討することができました。会議で決定したケアが適切なものであったか、お客様やご家族様が満足されているかについて、こまめに情報収集や観察を行いました。

各フロアにテクノロジー機器を導入し、科学的根拠を用いたケアの検討を行いました。お客様に安心、安全な生活を送っていただけるよう職員同士で定期的に情報共有を行いました。

毎月ユニット MTG を行い、お客様のケアの見直しを行いました。その方が何を望んでいるのか、どのようにサポートすべきかを検討し、統一したケアを行うことができました。

##### (2) 看取り介護を通して「その人らしい」看取りケアを提供します

お客様一人ひとりがその人らしい最期を迎えられるよう、多職種と連携してケアを行いました。看取り開始前にはお客様やご家族様とのコミュニケーションを取り、その方の望む最期を職員間で共有しました。

ご家族様へは定期的な連絡を行い、お客様の状態や今後の対応等をこまめにお伝えしました。

職員に向けた研修では、施設としての看取りの考え方の共有や、一人ひとりの死生観についてのディスカッションを通し、看取りについての知識を身に付けました。

看取り後には偲びのカンファレンスとして、職員一人ひとりの思いや悩みを共有する場を設け、メンタル面のサポートも行いました。経験の少ない職員に対しては、看護師や経験のある職員が事前に不安や実際の対応について、聞き取りや説明を行い、実際の場面で対応できるよう準備しました。

看取り介護について、ご家族の抱えている不安の解消や看取りに対しての理解を深めるため、サービス担当者会議で具体的な取り組みについてお伝えしました。

##### (3) 余暇活動の充実を図ります

自立支援・機能訓練委員会を中心に、お客様の機能訓練を目的とした毎月のレクを企画し、お客様に楽しんでいただくことができました。

調理レクでは、季節の食材を使用したおやつ作りや、お客様のリクエストから調理するものを検討し実施しました。手作りの食事は普段とは違った美味しさがあると、皆様に楽しんでいただくことができました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、大々的な外出レクの実施はできませんでしたが、近所の公園や施設屋上へ散歩に行き外の空気を感じて気分転換を図ったり、

近所の出前をとり昼食に召し上がっていただいたり、日々の生活の楽しみを提供することができました。

ご家族様との交流としては、感染症防止の観点から面会にご遠慮いただいておりますが、WEB面会としてご家族様とお客様との画面上での面会を実施しました。

(4) 職員の育成を強化して質の高いサービス提供を目指します

職員一人ひとりのスキルアップを目指すため、内部研修の開催や外部研修への参加を行いました。

内部研修では各委員会が主体となり、事前に課題を取り上げ、職員へ向けて研修を行いました。

課題達成のために必要な知識を得る目的で、各自が外部の研修に参加し情報収集を行い、委員会ミーティングで内容を考え、職員間での理解を深めました。

外部研修では職員個々のニーズに合わせた研修の提供として、積極的に情報提供を行いました。また、職員のレベルアップを目的として外部研修を計画し、参加を促しました。

新任職員にはOJT研修マニュアルに沿って職員一人ひとりのレベルに合わせた研修を行い、担当者と共に評価を行いました。

中途職員には介護基礎研修として、知識や技術を再認識する場を設けました。

(5) 感染症防止対策・予防の徹底に努めます

感染症防止委員会は毎月開催し、感染症防止委員会が中心となり、感染予防に努めました。

新型コロナウイルスの蔓延に備え、職員に対し毎週1回のPCR検査、フェイスシールド着用の徹底を行い、食事席にはシールドの設置を行いました。また、2時間おきの換気、テーブル等の消毒も行いました。

食中毒の流行時期には手洗い研修として正しい手洗いの方法を職員へ周知し、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の流行時期には感染症の基礎知識や予防策、手洗い方法についての研修を行いました。

出勤時には職員一人ひとりが検温、手洗い、うがい、マスク着用を徹底し、個々の体調管理を促しました。

(6) 施設内で委員会を設けケアの向上を図ります

各委員会で目標を定め、同じ目標に向けて取り組める環境作りを目指しました。月に1度のMTGで課題を話し合い、それを解決するために施設全体で取り組んでまいりました。

2. 施設行事

別紙1参照

3. 職員会議、研修

別紙2参照

## Ⅱ. ショートステイ バタフライ ヒル細田 (短期入所生活介護)

### 1. バタフライ ヒル細田としての取り組み

#### (1) 在宅ケアにフィードバックできるようなケアの確立を目指します

初回のご自宅訪問にて、お客様の ADL はもちろんの事、生活歴や趣味等も確認させていただき、短期入所生活介護計画書を作成いたしました。また、初回に限らず 2 回目以降のご利用時も、家族様やお客様のニーズをお聞きし、ニーズにお応えできる計画を立案いたしました。計画に沿った退所報告書を、ご家族様や居宅のケアマネージャーへお渡しし、施設でのご様子事の他に、介助方法や介助を受けている際のご様子などを記載し、実際に対応している職員からの意見やアドバイスなどの情報を提供するようにいたしました。ご家庭様で介護をされている介護者の方へ、スムーズに情報提供ができるよう心掛けております。

担当者会議にも参加をすることで、ご利用状況の様子などを各サービス担当者へ共有をし、在宅ケアの統一を図りました。

ベッド上での動き、呼吸数、心拍などを測定し、睡眠状態を測定する機械を導入することで、利用中の睡眠状況や入眠時間、起床時間の確認を行い、個々に合ったタイミングで排せつや体位変換等のケアを実施しました。

#### (2) 利用期間中は役割をもった生活を提供いたします

在宅生活の延長線上として、自宅やデイサービスなどと同じように、役割のある生活が送れるように支援をいたします

新規のお客様については、初回の自宅訪問の際に生活歴やご趣味、熱中されていた事やお好きな事等を細部まで聞き取り調査し、リピーターのお客様については初回の聞き取りからニーズに変化は無いかの確認を行いました。ニーズを実現できるようにアセスメントへ反映し、職員、ご家族様と共有いたしました。また、居宅ケアマネージャーからいただいたケアプランを現場へ共有し、自宅での生活を共有いたしました。

お客様のニーズに合わせた活動と余暇活動を提供できるようにレクスペースを設け、安全に体操やレクリエーション、カラオケが行えるように設備いたしました。

機能訓練指導員主導のもと、体操の取り組みも行いました。

その他に、調理レクや季節にあった作品作りを通して、お客様同士の交流を持っていただきお楽しみいただきました。

#### (3) 職員の育成を強化して質の高いサービス提供を目指す

質の高いサービス提供を行うことができるように、職員の成長と組織の発展の双方を目指す職場研修を実施します。職場研修を行うことで、職員がやりがいを感じると同時にキャリアアップ促進を目指します

職員一人ひとりのスキルアップを目指すため、内部研修の開催や外部研修への参加を行いました。

内部研修では各委員会が主体となり、事前に課題を取り上げ、職員へ向けて研修を行いました。

課題達成のために必要な知識を得る目的で、各自が外部の研修に参加したり情報収集を行い、委員会ミーティングで内容を考え、職員間での理解を深めました。

外部研修では職員個々のニーズに合わせた研修の提供として積極的に情報提供を行いました。また、職員のレベルアップを目的として外部研修を計画し、参加を促しました。

新任職員には OJT 研修マニュアルに沿って職員一人ひとりのレベルに合わせた研修を行い、担当者と共に評価を行いました。

中途職員には介護基礎研修として、知識や技術を再認識する場を設けました。

(4) 感染症防止対策・予防の徹底に努めます

感染症に対する対策の基本である、①感染源の排除②感染経路の遮断③宿主（人間の抵抗力の向上、これらを念頭におき感染症防止対策を講じます

感染症防止委員会は毎月開催を行い、感染症防止委員会が中心となり、感染予防に努めました。

新型コロナウイルスの蔓延に備え、職員に対し毎週 1 回の PCR 検査、フェイスシールド着用の徹底を行い、食事席にシールドの設置を行いました。また、2 時間おきの換気、テーブル等の消毒も行いました。

食中毒の流行時期には手洗い研修として正しい手洗いの方法を職員へ周知し、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の流行時期には感染症の基礎知識や予防策、手洗い方法についての研修を行いました。

出勤時には職員一人ひとりが検温、手洗い、うがい、マスク着用を徹底し、個々の体調管理を促しました。

(5) 施設内で委員会を設けケアの向上を図ります

施設内の課題に合わせた委員会を設け、各委員会が年間目標を設定しその目標達成のために年間計画を立案・実施いたします

各委員会で目標を定め、同じ目標に向けて取り組める環境作りを目指しました。月に 1 度の MTG で課題を話し合い、それを解決するために施設全体で取り組んでまいりました。

2. 施設行事

別紙 1 のとおり

3. 職員会議、研修

別紙 2 のとおり



## 第七章 認知症対応型共同生活介護事業所 フラクタルビレッジ

### I. フラクタルビレッジ西六郷 (認知症対応型共同生活介護)

#### 1. フラクタルビレッジ西六郷としての取り組み

##### (1) その人らしい生活の確立に向けて

お客様のできること（できないこと）・やりたいことを職員がケアプランの更新の際に、確認しながらケアプランに反映できるように取り組みました。日常生活の中で、お客様に合わせた役割作りを検討し実施していきました。

また、事故の予防対策の一環として各フロアに見守り機器を導入し、転倒事故などを未然に防ぐ対策を行いました。

新型コロナウイルス感染症の防止対策のため、ご家族様との面会を制限させていただきましたので、日頃の様子をこまめにお伝えできるように工夫しました。また、WEB面会も実施できるように体制を整え、ご家族様と画面を通じてコミュニケーションが取れるように働きかけていきました。

外出の機会が減ってしまいましたが、施設内の花壇などでお花を育てることで、少しでも外に出て楽しむ機会を設け、認知症の予防に取り組みました。

今年度も感染症防止対策を行いながら、認知症予防や身体機能の維持に向けて取り組みを行っていきます。

##### (2) 地域の方々との交流を図る

昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策により、地域の方と交流する機会がなく、施設内での生活となりました。

来年度はコロナの感染状況を注視しながら、運営推進会議を開催するとともに、地域とのかかわりを検討し実施してまいります。

#### 2. 施設行事

別紙1のとおり

#### 3. 職員会議・研修

別紙2のとおり

## Ⅱ. フラクタルビレッジ羽田 (認知症対応型共同生活介護)

### 1. フラクタルビレッジ羽田としての取り組み

#### (1) 認知症ケアの確立に向けて

お客様一人ひとりの認知症状に合わせたケアを実施できるようにアセスメントを行い、ケアの提供方法などを検討して実践してまいりました。また、お客様に日常生活の中で役割（洗濯物をたたむ・ゴミを捨てる・掃除を行うなど）をもっていただき、職員と共に役割に係る作業が行えるように支援を実施しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、外出する機会がなく施設の中だけでのイベントの開催になりましたが、季節を感じていただける内容を検討し実施しました。

外出の機会がなくなりましたが、施設内で菜園活動を行い、少しでも外気に触れる機会を設けていきました。ご家族様の面会も制限させていただきましたので、WEBでの面会ができるように体制を整えていきました。

夢プランに関しては、感染症防止の観点から実施することができませんでした。

#### (2) 社会参加を促し地域の方との交流を図る

新型コロナウイルス感染症の防止対策により、地域の方との交流を図る機会がなく、また地域の行事なども中止となり、参加できませんでした。

感染症の感染状況を注視しながら、地域で開催している獅子舞に施設へ来ていただき交流を図りました。

来年度は、運営推進会議を開催し、コロナ禍においても、少しでも社会とのつながりを感じていただけるように対応してまいります。

### 2. 施設行事

別紙1のとおり

### 3. 職員会議・研修

別紙2のとおり

### Ⅲ. フラクタルビレッジ大森南 (認知症対応型共同生活介護)

#### 1. フラクタルビレッジ大森南としての取り組み

##### (1) 認知症ケアの確立に向けて

認知症ケアの確立に向けて、リ・アセスメント支援シートを活用してアセスメントを実施する予定でしたが、職員への活用方法の研修会が実施できず、運用開始には至りませんでした。認知症ケアの実践においては、一人ひとりのお客様の認知症状をアセスメントすることが大切になってくるため、どのようなアセスメント方法がよいのかを今後も継続して検討し、実践できるようにしていきます。

また、日常生活の充実を図るために、外部からのボランティアを招き華道や手芸教室などを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、外部の方の受け入れが中止となり実施できませんでした。そのような状況の中で、少しでも季節を感じていただけるような施設イベントを検討し実施しました。

ご家族様との面会も感染防止のため中止させていただきましたので、WEB面会の導入や日々の生活の様子などをこまめにお知らせするように取り組みました。

##### (2) 社会参加を促し、地域の方との交流を図る

昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策により、地域の方と交流する機会がなく施設内での生活となりました。

##### (3) 事故発生件数を減らすために事故予防対策の徹底を図る

施設内での事故を予防するために、ひやりはっとの件数を増やすことができるよう、事故防止委員会にて取り組みを行いました。

提出されたひやりはっど報告書の活用が委員会で行えていなかったため、今年度は、ひやりはっど報告書の活用についても管理者を中心に行えるように取り組んでいきます。

また、事故後のカンファレンスで決まった対策に関して、日常業務の中で行うことができているかを確認しながら、事故防止に向けた取り組みを行いました。

#### 2. 施設行事

別紙1のとおり

#### 3. 職員会議・研修

別紙2のとおり

## 第八章 ケアサポートセンター

### I. リンクス羽田 (居宅介護支援事業所)

#### 1. ケアサポートセンター リンクス羽田としての取組み

##### (1) 地域へのアプローチおよび関係機関との連携

過去 2 年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、非対面での情報共有方法を検討し、外部との連携においてデジタル化すべくチャットやメールなどを用いるよう各職員が働きかけを行いました。チャットの浸透は進みづらい現状にありますが、メールでの連携は増え、約 75%はデジタルでの情報連携に変化させることができました。

病院等から ICT を活用したカンファレンス参加を求められる機会もあり、通常から WEB 会議を行っているため、即時に対応することができました。

地域自治体主催のケアマネ連絡会に幹事として参加し、研修の企画運営、また ICT 化の提案などを積極的に行いました。

また、近隣事業所との研修会や合同事例検討会は、別地域で年 2 回参加し、地域包括支援センターや、他居宅介護支援事業所との関わりを深めることができました。

##### (2) 事業所及びケアマネジメントの質の向上

令和 4 年度よりペーパーレス化に本格的に取り組み、紙の書類処理作業時間は大幅に削減することができました。しかしながら、紙の作業や紙による外部からの情報提供も多い状況のため、完全にペーパーレス化するにはまだ時間を要します。

クラウドやチャットなど、新しいツールについては職員間で勉強の時間を設け、一人ひとりが実行することで、業務効率化につなげることができています。

ケアプラン点検は年間 2 回にとどまりましたが、区のケアプラン点検において大きな指摘なく高評価で終わることができました。

自主点検は年 1 回実施し、事業所として大きな問題なく業務ができておりますが、引き続きコンプライアンスに努めてまいります。

各職員が年度初めに目標設定をし、年度内の達成を目指しておりますが、研修会などに積極的に参加るといった活動の結果、自身の目標を 70%ほど達成できています。

##### (3) 法人の強みを最大限に活かします

法人内事業所と ICT を活用して情報共有を行い、急な案件の依頼でも互いに即時に連携することができました。紙媒体でのやり取りを無くし、デジタルツールで情報共有を行っており、確実に情報連携を図りつつペーパーレス化、時間の効率的活用が継続できています。

事業所の ICT 化におきましては、他部署の協力を得て本格的にペーパーレス化し、クラウドにデータを保管することができました。

##### (4) やりがいと満足感を得られる職場環境の構築

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、在宅勤務を行う機会がありましたが、その際も WEB 会議やチャットを活用することで、事務所での勤務と変わらず問題なく各職員が業務を行うことができ、どこにいても変わらず仕事ができる環境を整備できています。

また管理者との個別ミーティングを 1~2 カ月に 1 回実施し、それぞれの現状を共有したり、新たな提案などを職員から吸い上げて、業務に活かすことができました。

ライフステージの違いや、ライフスタイルの違いがある中で、職員それぞれが協力して業務に取り組む雰囲気を醸成できています。

## Ⅱ. ケアサポートセンター リンクス大森中 (居宅介護支援事業所)

### 1. ケアサポートセンター リンクス大森中としての取組み

#### (1) 地域へのアプローチおよび関係機関との連携

令和 4 年 9 月 1 日に開設し、大森地域での活動を開始しました。近隣の各地域包括支援センターに認知いただくために、管理者はじめ各職員が働きかけを行ったことで、開設月より多くのご相談を頂くことができました。主任ケアマネジャーとして 2 か所の地域包括支援センターより地域ケア会議への参加依頼を頂くこともでき、地域での信頼を少しずつ獲得することができています。

また、他事業所との研修会や合同事例検討会は、別地域で年 2 回参加し、地域包括支援センターや他居宅介護支援事業所との関わりを深めることができました。

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、非対面での情報共有方法を検討し、外部との連携においてデジタル化すべくチャットやメールなどを用いるよう各職員が働きかけを行いました。チャットの浸透は進みづらい現状にありますが、メールでの連携は増え、約 75%はデジタルでの情報連携ができました。病院等から ICT 活用をしたカンファレンス参加を求められる機会もあり、通常から WEB 会議を行っているため、即時に対応することができました。

#### (2) 事業所及びケアマネジメントの質の向上

居宅サービス室として、令和 4 年度よりペーパーレス化に本格的に取り組み、紙の書類処理作業時間は大幅に削減することができました。しかしながら、紙の作業や紙による外部からの情報提供も多い状況のため、完全にペーパーレス化するにはまだ時間を要します。クラウドやチャットなど、新しいツールについては職員間で勉強の時間を設け、一人ひとりが実行することで業務効率化につなげることができています。

ケアプラン点検は年間 1 回実施いたしました。次年度は年間 4 回実施し、スキルアップに努めます。

自主点検は年 1 回実施し、事業所として大きな問題なく業務ができておりますが引き続きコンプライアンスに努めてまいります。

各職員が年度初めに目標設定をし、年間の達成を目指しておりますが、研修会などに積極的に参加するといった活動の結果、自身の目標を 70%ほど達成できています。

#### (3) 法人の強みを最大限に活かします

法人内事業所と ICT を活用して情報共有を行い、急な案件の依頼でも互いに即時に連携することができました。紙媒体でのやり取りを無くし、デジタルツールで情報共有を行っており、確実に情報連携を図りつつペーパーレス化、時間の効率的活用が継続してできています。

事業所の ICT 化におきましては、他部署の協力を得て本格的にペーパーレス化し、クラウドにデータを保管することができました。

#### (4) やりがいと満足感を得られる職場環境の構築

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、在宅勤務を行う機会がありましたが、その際も WEB 会議やチャットを活用することで、事務所での勤務と変わらず、問題なく各職員が業務を行うことができ、どこにいても変わらず仕事ができる環境を整備できています。

また管理者との個別ミーティングを 1 カ月に 1 回実施し、それぞれの現状を共有したり、新たな提案などを職員から吸い上げて、業務に活かすことができました。

ライフステージの違いや、ライフスタイルの違いがある中で、職員それぞれが協力

して業務に取り組む雰囲気を醸成できています。

## 第九章 サンタフェ総合研究所

(福祉事業者等への経営支援・福祉人材育成・介護機器メーカーの開発支援事業)

### 1. 事業運営の基本方針（基本理念・方針）

私たち社会福祉法人善光会は、「業界の行く末を担う先導者になる」を理念の一つに掲げ、これまで効率的介護サービス提供モデルの開発や先端的経営手法の導入を行ってまいりました。

令和4年度においても、「経営支援による事業所倒産の抑制」と「当法人の社会福祉事業および公益事業の継続性担保」という、二つの目的の下で福祉事業者等の経営支援事業と社会福祉に関する事業を進めました。

また、昨年度に引き続き、加速度的に変化する介護福祉業界環境に対応できる福祉人材を育成するために創設した福祉人材育成に関する事業を展開・拡充したほか、これまでの知見を元に介護施設・介護機器メーカーに対してのコンサルティングサービスの提供も行いました。

### 2. 事業内容

- ①福祉事業者等への経営支援等事業
- ②社会福祉の増進に資する人材の育成に関する事業
- ③介護機器メーカーへの開発支援事業

### 3. 令和4年度の事業内容

#### (1) 「介護サービス生産性向上プラットフォーム開発」

2020年よりサービス提供を進めてきたスマート介護プラットフォーム(以下、SCOP)については、以下の3種類のサービスを多数の施設に導入すると共に、アセスメント機能の改善や請求機能の追加など、様々な改善を実現いたしました。

- ①複数介護機器の集約モニタリング・コントロールアプリ「SCOP Now」
- ②タブレット介護記録アプリ「SCOP Home」
- ③各種計画・情報共有・各種分析・機能を備えたWEBアプリ「SCOP Online」

#### (2) 「次世代介護士育成プログラム展開」

スマート介護士資格の初級・中級プログラムをコロナ禍の状況を鑑み、オンラインによる試験回数の増加や合格者向けプログラムの開発も進め、受験者数増を実現しました。

#### (3) 施設向けコンサルティングサービスの提供

多くの施設より介護現場の業務改善の施策を求められ、介護機器の導入や業務改善の手法を提案・助言いたしました。また、地方自治体向けの介護事業所支援事業も実施いたしました。



(4)介護機器メーカー向け開発支援サービスの提供

介護機器の開発を行う会社様向けに機器の開発における相談や効果検証のための実証実験サービスを提供しました。

社会福祉法人 善光会 令和4年度事業報告 以上

【事業報告書別紙1】施設別年間行事実施報告書

項目	フロース東糞谷		アクア東糞谷		アミークス東糞谷		フラクタルビレッジ		バタフライヒル大森南		バタフライヒル細田		災害訓練		健康管理・衛生管理	
	月	日	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	1-6	【通所】お花見 レクシルオンライン体操 壁面制作 22 ぼろ先生オンライン体操 25-27 創作レクフォトフレーム作り レクシルオンライン体操			1-6	お花見	3	【大森南】お花見レク	1-30	壁飾り制作イベント	3	【3階アウラソーラ】桜プリン作り 【3階ルクスラシーナ】クッキーづくり	22	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	19	安全衛生委員会
	7-23	【入所/短期入所】お花見 調理レク(ピザ)			8	調理レク(ホットケーキ)	10	【西六郷】お花見レク	22	【3階】調理活動(旬の果物ミルフィーユ) 【短期入所】調理活動(どらやき)	5,6 10,11 17,18 25 25 30	【短期入所】編み物 【短期入所】屋上散歩 【短期入所】工作レク 【3階ルクスラシーナ】出前レク 【2階】長寿を祝う会 【3階】長寿を祝う会 【短期入所】モンブランづくり			10	【サンタフェガーデンヒルズ】 受水槽・貯水槽タンク清掃 【バタフライヒル大森南】 厨房排水管洗浄 加温用給水タンク清掃 厨房グリストラップ洗浄 受水槽清掃 簡易専用水道水検査
5月	16-17	【通所】制作ステンシルバッグづくり 食イベント(大人様ランチ) レクシルオンライン体操 24 食イベント(大人様ランチ) オンライン旅介(東武動物公園) 壁面制作	29	【入所】母の日レク	5-7	端午の節句 菖蒲湯	5	【羽田】こどもの日	8	母の日イベント	5	【3階】こどもの日 【3階ルクスラシーナ】鯉のぼりづくり 【短期入所】調理レク 【2階】母の日 【短期入所】鯉のぼりづくり 【短期入所】ホットケーキ作り 【3階アウラ】長寿を祝う会 【短期入所】紙相撲 【2階ルクスラシーナ】屋上散歩	2	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	17	安全衛生委員会
	30-31	【入所/短期入所】母の日レク			9		8	【羽田・大森南】母の日	24	【短期入所】調理活動(蒸しパン)	9	【短期入所】調理レク 【短期入所】編み物 【短期入所】工作レク 【短期入所】ホットケーキ作り 【短期入所】紙相撲 【2階ルクスラシーナ】屋上散歩	16	【バタフライヒル細田】 自衛消防訓練	12	【サンタフェガーデンヒルズ】 厨房害虫対策防除作業
6月	2	【通所】食中毒予防教室 15 雑居会 17 運動会 21 食イベント(お菓子作り) 27 フラワーアレンジメント教室 リリム時間オンライン	2	【入所】おやつレク(9-2) 14 父の日レク(9階) 16 おやつレク(8-2) 19 父の日レク(8階) 23 焼きそばレク(9-4)	16-17	和菓子の日	16	【西六郷】運営推進会議	12	【4階】調理活動(紫陽花ゼリー)	1~4	【3階アウラ】紫陽花塗り絵 【短期入所】編み物 【短期入所】調理レク 【短期入所】編み物 【短期入所】園芸 【2階】紫陽花塗り絵 【短期入所】紫陽花ゼリー 【2階アウラ】風船ハレー 【短期入所】父の日 【2階アウラ】屋上散歩 【短期入所】映画鑑賞 【3階】長寿を祝う会 【2階ルクス】風船ハレー	24	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	13	安全衛生委員会
	3	【入所/短期入所】調理レク(お好み焼き) 12 ホーム喫茶 14 調理レク(ベトナム料理) 22 父の日レク	20	【デイケア】母の日・父の日イベント			19	【羽田・大森南】父の日	17	【5階】調理活動(カエルクッキー) 父の日イベント	15	【短期入所】園芸 【2階】紫陽花塗り絵 【2階アウラ】風船ハレー 【短期入所】父の日 【2階アウラ】屋上散歩 【短期入所】映画鑑賞 【3階】長寿を祝う会 【2階ルクス】風船ハレー			1	【サンタフェガーデンヒルズ】 ろ過装置点検 13 水質検査(レジオネラ菌菌)
7月	18	【通所】食中毒予防教室 19 フラワーアレンジメント教室 20 消防避難訓練 25-26 創作うちわ作り 27 落語鑑賞 29 オンラインレクシル体操	1-10	【入所】七夕 焼き鳥レク(8-4)	6-7	七夕	3	【西六郷】七夕	1-7	七夕イベント	7	【短期入所】楽演調理 【3階ルクスラシーナ】七夕作成 【2階】七夕作成 【短期入所】園芸教室 【2階ルクスラシーナ】たこ焼き 【短期入所】カフェ 【全フロア】長寿を祝う会	24	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	19	安全衛生委員会
	11,14,15,19,17	【入所/短期入所】花火レク ホーム喫茶					7	【羽田・大森南】七夕	10	スイカ割り	20	【短期入所】園芸 【2階ルクスラシーナ】たこ焼き 【短期入所】カフェ 【全フロア】長寿を祝う会			5	【バタフライヒル大森南】 グリストラップ洗浄
8月	9	【通所】オンライン旅介(高知県) オンライン旅介(よきこい祭) 15-16 盆踊り&花火鑑賞 落語鑑賞 23 食イベント(大玉スイカ) レクシルオンライン体操 レクシルオンライン体操	21	サンタフェスタ	21	サンタフェスタ	18	【西六郷】運営推進会議	21	バタフライフェスタ	5	【2階】かき水 【短期入所】編み物 【2階】かき水 【短期入所】園芸 【3階】スイカ割り 【短期入所】楽演調理 長寿を祝う会 【短期入所】屋上調理 【3階アウラソーラ】アイストッピング	21	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	23	安全衛生委員会
	10,25	【入所/短期入所】VR旅行体験 ホーム喫茶					21	【羽田】サンタフェスタ動画観賞	21	【短期入所】スイカ割り	10 12 17 19 20 25 30 31	【短期入所】園芸 【短期入所】園芸教室 【短期入所】たこ焼き 【短期入所】カフェ 【全フロア】長寿を祝う会			4	【サンタフェガーデンヒルズ】 水質検査用採水 グリストラップ洗浄

【事業報告書別紙1】施設別年間行事実施報告書

項目	フロース東糀谷		アクア東糀谷		アミークス東糀谷		フラクタルビレッジ		パタフライヒル大森南		パタフライヒル細田		災害訓練		健康管理・衛生管理					
	月	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容			
9月	6	【通所】 リリム時間オンライン オンライン旅介 敬老表彰式	25	【入所】 焼き芋レク(9階) 焼き芋レク(8階)	17	調理レク(お好み焼き、たこ焼き)	10	【西六郷・羽田・大森南】 遊歩道でお月見	6-19	花火レク	5,6,7,8	【短期入所】手持ち花火 【2階アクアソーラ】手持ち花火 【2階ルクスラシーナ】秋の工作	22	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	16	安全衛生委員会				
	19-21	リリム時間オンライン 創作提灯づくり フラワーアレンジメント教室	30	【デイケア】 敬老の日イベント	21	お月見	19	【西六郷・羽田・大森南】 敬老会	13-19	敬老会イベント	10	【短期入所】編み物 【短期入所】敬老の日 【2階・3階】敬老会 【短期入所】工作レク			12	【サンタフェガーデンヒルズ】 ち道設置点検				
	20-21	リリム時間オンライン 創作提灯づくり フラワーアレンジメント教室	19-23	敬老の日イベント	26	季節のおやつ			15	調理活動(お月見団子)	14	【短期入所】編み物 【短期入所】敬老の日 【2階・3階】敬老会 【短期入所】工作レク			14	【パタフライヒル細田】 グリストラップ洗浄				
	6,7	【入所/短期入所】 調理レク(かき氷・クレープ)							25	【2階】 調理活動(五平餅)	25	【短期入所】園芸 長寿を祝う会 【短期入所】編み物 【短期入所】調理レク選べるおやつ								
	13	VR旅行体験 敬老祭									26	【短期入所】編み物 【短期入所】調理レク選べるおやつ								
10月	6	【通所】 オンライン旅介(静岡) タダレクオンライン体操	16	【入所】 おやつレク(8-4) 秋のちぎれ絵レク	15	調理レク(餃子)	16	【西六郷】日帰り旅行			10	【各フロア】 企画イベント(ハロウィン・運動会等)	2,3	【短期入所】映画鑑賞 【短期入所】編み物 【短期入所】園芸	3	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	18	安全衛生委員会		
	14	壁面制作 フラワーアレンジメント教室 レクシルオンライン体操	23	【デイケア】 食レク(オムライス)					23	調理活動(かぼちゃスープ)	6	【短期入所】編み物 【短期入所】園芸 【短期入所】白まあんみつ作り			6	【パタフライヒル大森南】 厨房グリストラップ洗浄 加圧用給水タンク清掃				
	17-18	壁面制作 フラワーアレンジメント教室 レクシルオンライン体操	31	【デイケア】 食レク(オムライス)					28	調理活動(かぼちゃスープ)	12	【短期入所】編み物 【短期入所】園芸 【短期入所】カラオケ 【短期入所】編み物 【3階ルクスラシーナ】ハロウィン 【短期入所】実演調理			19	【パタフライヒル細田】 加圧用給水タンク清掃				
	24	【入所/短期入所】 映画鑑賞会 VR旅行体験						30	調理活動(スイートポテト)	18	【短期入所】映画鑑賞 【短期入所】編み物 【短期入所】園芸 【短期入所】カラオケ 【短期入所】編み物 【3階ルクスラシーナ】ハロウィン 【短期入所】実演調理			19	【パタフライヒル細田】 加圧用給水タンク清掃					
	2	【入所/短期入所】 映画鑑賞会 VR旅行体験						31	調理活動(かぼちゃ饅頭)	28	調理活動(かぼちゃスープ)	25	【短期入所】カラオケ 【短期入所】編み物 【3階ルクスラシーナ】ハロウィン 【短期入所】実演調理							
11月	11	【通所】 オンライン旅介(伊勢神宮) 食イベント(塩ちゃんこ鍋)	13	【入所】 プラ板作り	5	ハロウィン	6	【大森南】紅葉散策	18	調理活動(ずいとん)	1	【3階ルクスラシーナ】工作レク 【2階】切絵	20	根谷地区合同防災訓練	15	安全衛生委員会				
	15	創作クリスマスツリー作り リリム時間オンライン 調理レク(お菓子作り) フラワーアレンジメント教室					8	【羽田】皆既月食	【各フロア】 企画イベント(調理・創作等)	24	【各フロア】 企画イベント(調理・創作等)	3	【短期入所】貼り絵 【3階アクア】カレンダーづくり	21	【パタフライヒル細田】 自衛消防訓練 (11/21~12/4 オンライン)	18	【サンタフェガーデンヒルズ】 厨房害虫対策防除作業			
	18	リリム時間オンライン 調理レク(お菓子作り) フラワーアレンジメント教室					19	【西六郷】紅葉散策	【短期入所】 企画イベント(調理・創作等)	19	【羽田】運営推進会議	7	【短期入所】貼り絵 【3階アクア】カレンダーづくり			18	【パタフライヒル大森南】 厨房害虫対策防除作業			
	25	壁面制作 クリスマスツリー点灯式					25-28	【羽田】紅葉散策	【短期入所】編み物	19	【羽田】運営推進会議	10	【短期入所】編み物 【3階アクアソーラ】おやつ			18	【パタフライヒル大森南】 厨房害虫対策防除作業			
	30	【入所/短期入所】 秋刀魚・芋煮会 映画鑑賞会 ホーム喫茶					25-28	【大森南】運営推進会議	【短期入所】編み物	22	【短期入所】編み物 【短期入所】園芸 【短期入所】カラオケ 【短期入所】編み物 【3階ルクスラシーナ】おやつ調理	15	【3階アクアソーラ】おやつ 【短期入所】編み物 【2階アクアソーラ】旬の味覚 【3階ルクスラシーナ】おやつ調理			18	【パタフライヒル細田】 厨房害虫対策防除作業			
12月	12-16	【通所】 創作レクカレンダー作り タダレク音楽	24	【入所】 クリスマスレク	21	クリスマス	15	【西六郷】運営推進会議	【2階】 調理活動(栗のモンブラン)	4	【2階】 調理活動(栗のモンブラン)	1	【3階ソーラ】クリスマスツリー作り 【短期入所】実演調理 【3階ルクスラシーナ】調理レク	28	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	20	安全衛生委員会			
	23	食イベント(寿司) クリスマス会 創作しめ縄作り 壁面制作	19-23	【デイケア】 クリスマスイベント 食レク(握り寿司)			24	【羽田】クリスマス会	【各フロア】 企画イベント(調理・創作等)	11-30	年賀状制作イベント	11	【短期入所】実演調理 【3階ルクスラシーナ】調理レク			8	【サンタフェガーデンヒルズ】 濾過装置点検 水質検査用採水			
	26-28	壁面制作	30	【デイケア】 クリスマスイベント 食レク(握り寿司)			25	【大森南】クリスマス会	【4階】 調理活動(プリン)	23	【西六郷】クリスマス会	23	【短期入所】編み物 【2階アクアソーラ】忘年会 【短期入所】クリスマス会			13	【パタフライヒル細田】 厨房グリストラップ洗浄			
	24	【入所/短期入所】 クリスマス会					27	【西六郷】クリスマス会	【短期入所】 調理活動(プリン)	27	【羽田】お節作り	24	【短期入所】クリスマス会 【2階】クリスマス会 【全フロア】おはぎ作り 長寿を祝う会			6	【パタフライヒル細田】 厨房グリストラップ洗浄			
							31	【羽田】お節作り	【短期入所】編み物 調理活動(けんちん汁)	27	【羽田】お節作り	27	【短期入所】編み物 【短期入所】実演調理 長寿を祝う会 【短期入所】工作レク 【短期入所】編み物 【短期入所】紅白ぜんざい							
1月	4-6	【通所】 新年行事 創作絵馬づくり	1	【入所】 甘酒	3-7	お正月	1	【羽田】獅子舞	【2階】 調理活動(デコレーションケーキ)	27	調理活動(デコレーションケーキ)	2	甘酒提供 【2階ルクスラシーナ】羽子板レク 【2階】書初め 【3階アクアソーラ】屋食レク	25	【サンタフェガーデンヒルズ】 自衛消防訓練	17	安全衛生委員会			
	12	食イベント(おでん) 食イベント(おでん) 初詣外出 創作節分飾り リリム時間オンライン					1-3	【羽田・大森南】初詣	【各フロア】 企画イベント(調理・創作等)	15	【西六郷】お正月	3	【短期入所】実演調理 【3階ルクスラシーナ】調理レク			12	【サンタフェガーデンヒルズ】 濾過装置点検 水質検査用採水			
	23-26	初詣外出 創作節分飾り リリム時間オンライン					26	【西六郷】運営推進会議	【4階】 調理活動(焼き芋)	20	【羽田・大森南】初詣	4	【短期入所】編み物 【2階アクアソーラ】忘年会 【短期入所】クリスマス会							
	23-25	初詣外出 創作節分飾り リリム時間オンライン					27	【羽田】運営推進会議	【短期入所】 調理活動(けんちん汁)	27	【羽田】お節作り	24	【短期入所】クリスマス会 【2階】クリスマス会 【全フロア】おはぎ作り 長寿を祝う会							
	26	【入所/短期入所】 新年行事 書初め オンライン体操					30	【大森南】運営推進会議	【短期入所】編み物 調理活動(けんちん汁)	27	【羽田】お節作り	28	【短期入所】編み物 【短期入所】実演調理 長寿を祝う会 【短期入所】工作レク 【短期入所】編み物 【短期入所】紅白ぜんざい							





